■第一中学校 |~3年 総合的な学習の時間・学級活動

授業のねらい

○生徒、保護者、教員、地域の方が本校の校則について考え、様々な意見を通して自らの考えをもつ。また、異学年の班に分かれて意見を交流し、生徒会でまとめ、教員と討議する。討議内容は「校則は何のためにありますか」「防寒着の色に制限が必要か」「靴下の色やデザインについて制限が必要か」「髪型に関する校則が必要か」で質問している。

タブレット端末活用の工夫/教育データ活用の工夫

- ○Formsを活用し、校内生徒・教員・保護者・地域の方々の意見 を集約した。
- ○アンケート結果をまとめたものをTeamsで生徒に提示し、全校 学活で討論を行った。 (全校学達]な例に関するアンアート



- ○全体の司会進行や挨拶は生徒会役員が生徒会室から配信した。
- ○異学年の班に分かれ、校則の意義や検討すべき校則の見直し、代案について討議を行った。班の意見は記録者がTeamsで共有されたExcelファイルの所定のセルに入力し、全員で見合ったり発表するときに提示できたりするように工夫した。
- ○教室内では、小グループごとの発表のあと、各教室の代表者が

Teamsで発表した。





生徒の様子

- ○事前アンケートで意見を集約したことで、校則の意義や社会生活 を送る上で必要な内容なのか等について、全員が自分の考えをも って、発信することができた。
- ○アンケート結果を事前に閲覧させたことで、様々な意見があることを知り、当日に向けて、自分の意見をまとめることができた。
- ○各教室で討議したことを教室の代表者がとりまとめ、Teams を活用して全校に共有し、リアルタイムに交流することができた。

成果

- ○ICT を活用することで、体育館等で一斉に行うのではなく、教室で落ち着いて意見共有を行い、全体で共通理解が図れた。
- ○異学年交流も兼ねて行い、各教室では Teams の Excel で意見を記入し、時間短縮につながった。また、授業時間内に各教室で出た意見を中継できたことで他教室での話し合いの様子を知ることができた。ICT なしでは 2 ~ 3 時間必要な取り組みを | 時間で実施することができた。

課題

○電子黒板との接続やオンライン時の音声設定などに手間取ってしまう場面が見られた。今後、このような機会を増やし、使用方法に慣れることで解消されると考える。



